

CompTIA

CASP+

CompTIA Advanced Security Practitioner+



Gain Mastery-Level Security with CASP+ Certification

■ CASP+ とは

CompTIA Advanced Security Practitioner (CASP+) 認定資格は、企業や組織でより高度なセキュリティ分野を担当するセキュリティアーキテクトや上級セキュリティエンジニアなどのセキュリティ実務者を対象にした認定資格です。IT 全般の管理者として 10 年以上の経験、そのうち 5 年以上をセキュリティに関連する実務で得られる知識やスキルを目安に設計されています。

■ CASP+ の取得

CASP+ は、オンプレミスやクラウド、またはハイブリッド環境でのセキュリティアーキテクチャとテクニカルスキル、リスクマネジメント、ガバナンスやコンプライアンスの順守といったスキルに加え、企業のサイバーセキュリティの準備状況の評価や企業全体に実装するため必要とされる総合的なセキュリティスキルを評価します。

CASP+ を取得することで、以下のようなスキルを習得していることを証明します。

- 複雑な IT 環境全体におけるセキュアなソリューションの設計、統合、実装をし、企業のレジリエンスを実現する
- 監視、検出、インシデント対応、自動化を使用し、エンタープライズ環境におけるセキュリティ運用をプロアクティブにサポートする
- 暗号化テクノロジーやその他のセキュリティ手法を考慮しながら、クラウド、オンプレミス、エンドポイント、モバイルインフラストラクチャの全体にセキュリティプラクティスを適用する
- 企業全体のガバナンス、リスク、コンプライアンス要件の影響を検討する

CASP+ は、世界的に認知される品質規格に準拠しているとして、2011 年 12 月 31 日に、国際標準化機構 (ISO) および米国規格協会 (ANSI) より認定を受けています。また、米国防総省によって指令 8140/8570.01-M 要件を満たすことが承認されています。

" 業界の業界による
業界のための資格 "

CompTIA 認定資格は、試験作成委員会を中心となり、ニーズ調査・職務分析・リサーチを経て、SME（サブジェクトマターエキスパート）と呼ばれる現場関係者により開発が進められます。

CASP+ SME

■ 海外 / 一部抜粋

- Department of Defense, US Army
- U.S. Department of Defense
- AGL Energy
- Amazon Web Services
- AT&T
- BAE Systems
- Cisco
- Johns Hopkins University Applied Physics Laboratory
- NTT

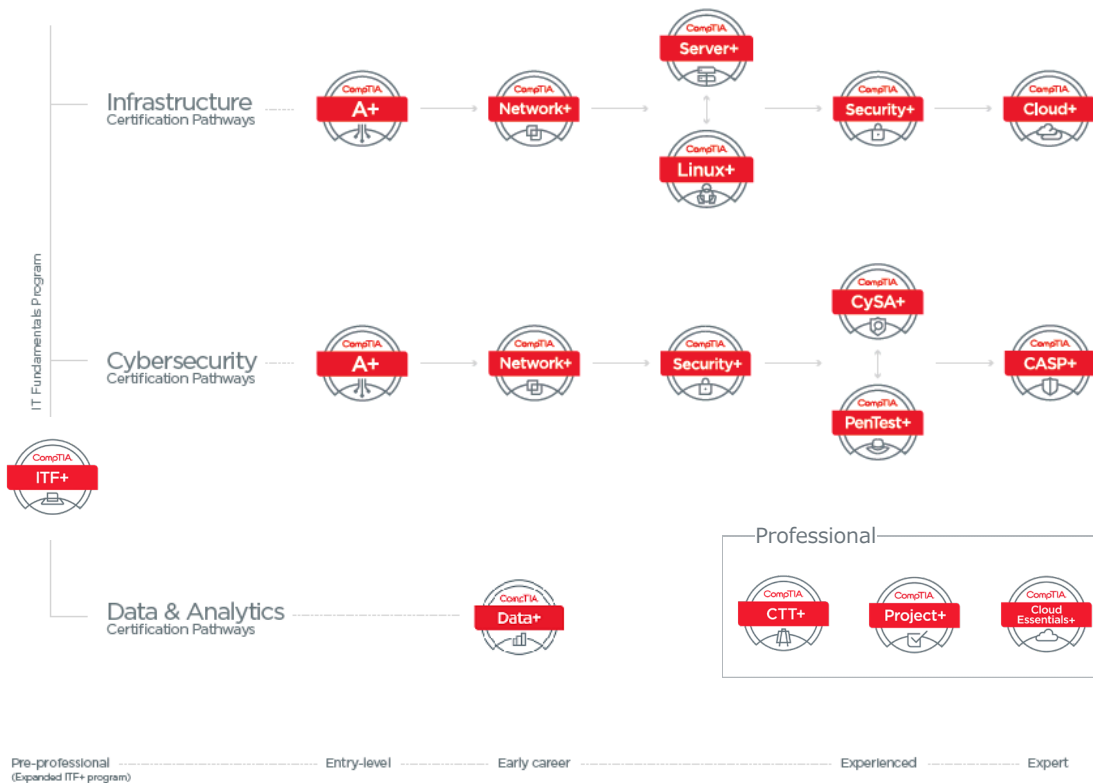
■ 日本 (50 音順)

- NRI セキュアテクノロジーズ株式会社
- 株式会社クレオ
- 株式会社ラック

認定資格の詳細情報は、下記 Web サイトをご覧ください：

https://www.comptia.jp/certif/comptia_certificaiton/

■ CompTIA 認定資格のキャリアパスと CASP+ の位置づけ



■ CASP+ 出題範囲

CASP+ (CAS-004)		
1.0 セキュリティアーキテクチャ	29%	<ul style="list-style-type: none"> 与えられたシナリオに基づいて、セキュリティの要件と目標を分析し、新規または既存のネットワークに対して、適切かつセキュアなネットワークアーキテクチャを実現することができる。 与えられたシナリオに基づいて、組織の要件を分析し、インフラストラクチャの正しいセキュリティ設計を決定することができる。 与えられたシナリオに基づいて、ソフトウェアアプリケーションを、セキュアな形で企業のアーキテクチャに統合することができる。 与えられたシナリオに基づいて、データセキュリティの手法を実施し、企業のアーキテクチャを保護することができる。 与えられたシナリオに基づいて、セキュリティの要件と目標を分析し、認証と認可を適切に制御することができる。 一連の要件に基づいて、クラウドと仮想化のセキュアなソリューションを実装することができる。 暗号化技術と公開鍵インフラストラクチャ (PKI) が、セキュリティの目標と要件をいかにサポートするかを説明することができる。 新興テクノロジーが企業のセキュリティとプライバシーに与える影響を説明することができる。
2.0 セキュリティオペレーション	30%	<ul style="list-style-type: none"> 与えられたシナリオに基づいて、脅威マネジメントアクティビティを実行することができる。 与えられたシナリオに基づいて、侵害の痕跡を分析し、適切な対応策を立案することができる。 与えられたシナリオに基づいて、脆弱性マネジメントアクティビティを実行することができる。 与えられたシナリオに基づいて、脆弱性アセスメントとペネトレーションテストに関する、適切な手法とツールを使用することができる。 与えられたシナリオに基づいて、脆弱性を分析し、リスク低減策を推奨することができる。 与えられたシナリオに基づいて、プロセスを用いてリスクを低減することができる。 与えられたインシデントに基づいて、適切な対応策を実施することができる。 フォレンジックコンセプトの重要性について説明することができる。 与えられたシナリオに基づいて、フォレンジック分析ツールを使用することができる。
3.0 セキュリティエンジニアリングと暗号化技術	26%	<ul style="list-style-type: none"> 与えられたシナリオに基づいて、企業のモビリティにセキュアな構成を適用することができる。 与えられたシナリオに基づいて、エンドポイントセキュリティ管理を構成および実装することができる。 特定のセクターやオペレーション技術に影響を及ぼすセキュリティ上の検討事項を説明することができる。 クラウドテクノロジーの採用が組織のセキュリティにどう影響するかを説明することができる。 与えられたビジネス要件に基づいて、適切な PKI ソリューションを実装することができる。 与えられたビジネス要件に基づいて、暗号化の適切なプロトコルとアルゴリズムを実装することができる。 与えられたシナリオに基づいて、暗号化技術の実装に関する問題をトラブルシューティングすることができる。
4.0 ガバナンス、リスク、コンプライアンス	15%	<ul style="list-style-type: none"> 一連の要件に基づいて、適切なリスク戦略を適用することができる。 ベンダーリスクの管理と低減の重要性を説明することができる。 コンプライアンスのフレームワークと法的検討事項とそれらが組織に与える影響を説明することができる。 事業継続性と災害復旧のコンセプトの重要性を説明することができる。

■ CASP+ 試験概要

試験番号	問題数	制限時間	合格ライン
CAS-004	最大で 90 問	165 分	合否のみ / スコアは表示されません

■ CASP+ トレーニング教材 : The Official CompTIA Study Guide

The Official CompTIA Study Guide は、CompTIA 認定資格試験の出題範囲がすべて網羅されているテキストです。eBook 版と書籍版の 2 種類が提供されています。

The Official CompTIA CASP+ Self-Paced Study Guide 日本語版 (試験番号 : CAS-004)

学習範囲

自学で学習を進める方向けのコンテンツです。最新の CASP+ (CAS-004) 試験範囲を網羅しており、多くの図解を含む十分な情報量の理解しやすいコンテンツです。

含まれる内容

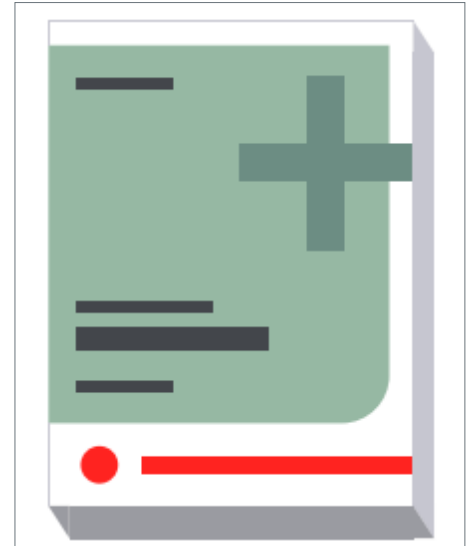
- 実際の業務に合わせたコンテンツ – すべてのトピックスは、業務上の職務に関連しており、レッスンでは実際の業務で発生する内容を取り上げています。
- 重要な用語と略語集

学習内容

The Official CompTIA CASP+ Study Guide (CAS-004) は、CompTIA 認定資格試験を自学で学習される方向けに作成されています。本書は、CompTIA CASP+ (CAS-004) の出題範囲がすべて網羅されていることを第三者により評価されており、CompTIA CASP+ の取得に必要なスキルを学習することが可能です。

本書には、以下の内容が含まれています。

- リスク管理活動を実行する
- ガバナンスとコンプライアンス戦略を要約する
- 事業継続と災害復旧を実装する
- インフラストラクチャサービスの特定
- ソフトウェア統合を実行する
- 仮想化、クラウド、新興テクノロジーを説明する
- セキュアな構成とシステムハードニングを理解する
- クラウドと専用プラットフォームのセキュリティに関する考慮事項を理解する
- 暗号化技術の実装
- 公開キー基盤 (PKI) の実装
- 脅威と脆弱性管理アクティビティを理解する
- インシデント対応プロセスを展開する



The Official CompTIA Contents の購入は、下記 CompTIA Store から :

<https://jp-store.comptia.org/>